慶應義塾大学 教養研究センター企画・実施

日吉キャンパス公開講座　そして

「学びの旅のすゝめ：みちのく見聞録」へのお誘い

日吉キャンパス公開講座

今年のテーマ「日本ってなんだろう」

2012年9月29日(土)～11月17日(土)

◆ 全8回の講義を幅広い分野の多彩な16名の講師陣が担当
◆ 講座前半は「学びの旅のすゝめ」との連動企画
　☞　本講座を受講すると「学びの旅」の理解と関心が深まります。
◆ 受講者は 慶應義塾大学日吉図書館を 開講期間中 ご利用いただけます。

「学びの旅のすゝめ：みちのく見聞録」

JTB 法人東京 主催 2泊3日の旅 3コース

2012年11月20日(火)～22日(木)　2コース
23日(金)～25日(日)　1コース

◆ 慶應義塾大学の教員による立案・企画の旅
　☞　テーマのある旅で、ひと味違う探索の旅をご体験いただけます。
◆ 慶應義塾大学の教員2名が同行し、現地での解説・講義を担当
　☞　知的発見の楽しみや交流を、旅を通じて深めていただけます。
◆ JTB の添乗員が安心かつ信頼できるご案内をいたします。

ご挨拶

教養研究センターは平成16年から社会・地域連携の一環として慶應義塾の多様な研究成果を、毎年設定されたテーマに即して体系化し、知的要求の高い社会人の方々に日吉キャンパス公開講座として提供してまいりました。

このたび、本センター開所10年を記念し、息の長い東北支援をめざして、JTB法人東京との連携による「学びの旅のすゝめ：みちのく見聞録」を展開する運びとなりました。 歴史に埋もれた多層な東北像を浮かび上がらせ、未来へのまなざしを向ける一助として、講義と学びを縒り合わせ旅へとお招きいたします。

皆様のご参加を心よりお待ち申しております。

慶應義塾大学教養研究センター所長
不破　有理

慶應義塾大学日吉キャンパス公開講座【全8回】

日本ってなんだろう

2012年
9月29日(土)
▼
11月17日(土)

東北の魅力再発見

慶應義塾大学日吉キャンパス公開講座

自明さを失いつつある日本のアイデンティティーを再検討すべく、講座前半は東北みちのくの歴史・文化の再発見を主なテーマとし、講座後半はさらに視野を広げ、日本像を多角的に取り上げます。

講座内容

① 3時限目(13:00〜14:30) ② 4時限目(14:45〜16:15)
毎週土曜日開催

9/29	① 東北学、新たなステージへ	赤坂憲雄 学習院大学教授
	② 東北の義経伝説と文学・芸能	佐谷眞木人 恵泉女学園大学人文学部教授
10/6	① 東北の縄文文化から学ぶこと	安藤広道 慶應義塾大学文学部教授
	② キリシタン時代の東北と蝦夷	浅見雅一 慶應義塾大学文学部教授
10/13	① 絵草紙を通した義経伝承とみちのく	石川　透 慶應義塾大学文学部教授
	② 西行の足跡とおくのほそ道	寺澤行忠 慶應義塾大学名誉教授
10/20	① 海に開かれた三陸沿岸	川島秀一 神奈川歴史民俗資料学研究科特任教授
	② 流域で考える東日本大震災	岸　由二 慶應義塾大学経済学部教授
10/27	① 福沢諭吉の見た日本人の長所と短所	都倉武之 慶應義塾福沢研究センター准教授
	② ポスト3.11 日本の力、日本の未来へのシナリオ — 宇宙、深海、そして環業革命へ —	山根一眞 ノンフィクション作家、獨協大学経済学部特任教授
11/3	① 東路の道の果て — 歌枕と古典劇 —	村上　湛 明星大学人文学部教授
	② 伝統食の宝庫・東北の底力 — 発酵と東北人の知恵 —	小泉武夫 農学者、発酵学者
11/10	① 平成・全国花街(かがい)めぐり — 80歳代現役芸者たちの生き様を追う —	浅原須美 ライター(『お座敷遊び』『東京六花街』著者)
	② 近代芸能としての「落語」	松本尚久 放送作家、明星大学非常勤講師
11/17	① 憧れのハワイ航路	柳田利夫 慶應義塾大学文学部教授
	② 「山島」としての日本列島	安藤礼二 多摩美術大学准教授

募集要項

募集対象　社会人ほか
募集定員　300名　※先着順受付
会　　場　慶應義塾日吉キャンパス　第4校舎B棟1階JI4番教室
受付期間　2012年 7月25日(水) 〜 9月20日(木)〈必着〉
受 講 料　8,000円〈全8回〉
申込方法　パンフレット最終ページにある、お申込書をご覧ください。

☞　申し込み受付後に、受講に関するご案内を郵送いたします。受講料の納入をもって受講登録となりますので、受講ご希望の方は指定日までに受講料を指定口座にご入金下さい。

☞　受講者は開講期間中、日吉図書館の利用が可能になります。ただし、貸し出しはできません。計５回以上ご出席の方には修了書を授与いたします。

「学びの旅のすゝめ：みちのく見聞録」

慶應義塾大学教養研究センター 開所10年記念企画

「学びの旅のすゝめ ： みちのく見聞録」

慶應義塾大学ゆかりの地や研究成果を学びながら東北復興の支援を「旅」を通して行います。

全３コース共通：往復新幹線利用（東京発着）/ 現地バス利用（２泊３日）

コースＡ： 義経・西行・芭蕉のみちのくを歩く

松島観光協会所蔵

2012年 11月20日（火）～22日（木）

同行講師メッセージ：**石川 透**（慶應義塾大学文学部教授）

源義経は、歴史上有名な人物ですが、その実態はよくわかっていません。各地に伝わる伝説や物語によれば、義経は、頼朝の追っ手から逃れて、平泉を目指しています。 東北には、その伝承地がいくつも残されているのです。 その跡地を巡るとともに、義経終焉の地平泉を訪れます。

同行講師メッセージ：**寺澤行忠**（慶應義塾大学名誉教授）

新古今和歌集にもっとも多くの歌が採られている西行は、２度にわたりみちのくに旅をしています。 西行を敬慕した芭蕉も、西行の足跡を追うように、おくのほそ道を歩き、すぐれた名文と多数の秀句を残しました。

日本の文化史上ひときわ高く屹立する、この２人の詩人を惹きつけた東北の魅力とはどのようなものだったのか、実地にその足跡をたどってみたいと思います。

訪問予定地：松島・最上川・鳴子温泉・中尊寺など
宿泊予定地：ホテル大観荘（松島）・ 鳴子観光ホテル（鳴子）
概 算 費 用：おひとり様あたり 約 82,000円
募 集 定 員：40名

コースＢ： 古層のみちのく ー 縄文文化に学ぶ

2012年 11月20日（火）～22日（木）

同行講師メッセージ：**須田英一**（慶應義塾大学矢上地区文化財調査室助教）

日本列島に約1万年の長きにわたり営まれた文化。 それが縄文文化です。 最後の時期である晩期には、東北地方一円に亀ヶ岡遺跡・是川遺跡に代表される高度な工芸技術を誇る亀ヶ岡文化が花開きます。 戦後、東北地方の多くの遺跡の調査に慶應義塾が関わりました。その足跡をたどりつつ、東北地方の縄文文化の力を肌で感じ、私達の足元を見つめ直すきっかけとなれば最高です。

同行講師メッセージ：**不破有理**（慶應義塾大学経済学部教授）

慶應義塾と縁の深い縄文遺跡が東北には多くあります。 発掘でお世話になった東北への支援の気持ちを込めた慶應ならではの企画です。 発掘に関わった学芸員のお話を伺い、遺跡や土器からみえる縄文の人々の息遣いを体感する旅。 遺跡は古今東西、人間の想像力を刺激し、太古の世界にいざないます。 イギリスの世界遺産ストーンヘンジもしかり。 遺跡がもつ時空を超えた力を、旅を通してご一緒に学ばせていただければ幸いです。

青森県教育庁文化財保護課所蔵

訪問予定地：三内丸山遺跡・是川石器時代遺跡・御所野遺跡など
宿泊予定地：サンルート青森（青森）・ 星野リゾート青森屋（古牧）
概 算 費 用：おひとり様あたり 約 82,000円
募 集 定 員：40名

「学びの旅のすゝめ：みちのく見聞録」

コースC： みちのくにジパングを求めて

2012年 11月23日(金)～25日(日)

同行講師メッセージ：伏見岳志（慶應義塾大学商学部准教授）

マルコ・ポーロが描いたジパングは、平泉だったとする説があります。

事実、大航海時代にはスペイン人が金銀を探して東北を訪れ、伊達家とも親交をもちました。 その交流の足跡を辿りながら、ジパングとはいったいなんだったのか、みなさんと探求していきたいと思います。

同行講師メッセージ：長沖暁子（慶應義塾大学経済学部准教授）

慶應義塾・南三陸プロジェクトとして、3.11以降、学生たちと東北を何度か訪れています。 山を守ることで、海を守ってきた南三陸の人々、たびたび自然災害にあいながら、自然と共存してきた先達たちの知恵にはいつも敬服しています。 海に開かれた東北の歴史、魅力をご一緒に見つけたいと思います。

訪問予定地：青葉城址・南三陸町・大籠キリシタン公園・中尊寺など
宿泊予定地：アパヴィラホテル(仙台)・気仙沼プラザホテル(気仙沼)
概算費用：おひとり様あたり 約 79,000円
募集定員：40名

ツアー参加までの流れについて

仮申込・資料請求 8/20締切 → JTBへ正式申込 9/20締切 → お支払・ツアー参加 出発1カ月前

＊応募多数の場合、仮申込者を優先的に参加登録いたします。 お早めにお申し込みください。

＊旅行内容詳細については、ご請求資料の到着後(8月下旬頃)、ツアー主催会社のJTB法人東京 (TEL: 03-5909-8012) へお問い合わせください。

お申込みは ①Fax ②ホームページ ③メールのいずれかでお願いいたします。

①Faxお申込書 (Fax: 045-563-3979)

日吉キャンパス公開講座 日本ってなんだろう（全8回）	学びの旅のすゝめ：みちのく見聞録（仮申込）
☐ 受講する ☐ 受講しない　9/20 締切	☐ Aコース（義経・西行・芭蕉のみちのくを歩く） ☐ Bコース（古層のみちのく ― 縄文文化に学ぶ）　8/20 締切 ☐ Cコース（みちのくにジパングを求めて） ＊仮申込は正式予約ではありません。 ツアー参加までの流れは上記をご参照ください。

ご氏名:	e-mail:	
ご住所: 〒		
ご連絡先番号: （自宅・会社・携帯・Fax）	性別: 男・女	ご年齢: 歳
備考欄:		

②ホームページでのお申込み http://lib-arts.hc.keio.ac.jp/ 教養研究センター 検索

③メールでのお申込みは Fax 申込書の内容を明記の上、下記アドレスまでご送信ください。

e-mail: h-ext2012@adst.keio.ac.jp 申込メールアドレス

●個人情報の取扱い 慶應義塾大学教養研究センター主催の本企画に関わる個人情報は、本企画を含む同センターからのお知らせのみに対して利用し、十分プライバシーに配慮し、慶應義塾ならびに企画運営の委託を受けた受託業者が適正かつ責任を持って適正に管理を行います。個人情報は、ご本人の承諾なしに第三者に提供することはありません。

慶應義塾大学教養研究センター 日吉キャンパス公開講座・学びの旅 事務局 担当：木下優佳
〒223-8521 横浜市港北区日吉4-1-1 Tel: 045-563-3978

※土日祝日、8月23～29日（日吉キャンパス一斉休暇中）は除く